

TAYCA REPORT

第150期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

TAYCA
テイカ株式会社
証券コード：4027



代表取締役社長
名木田 正男

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成27年9月30日をもって、第150期の第2四半期連結累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成27年12月

当第2四半期連結累計期間における業績のポイント

- 化粧品向けの微粒子酸化チタンや表面処理製品等の機能性製品の販売が好調であったこと等により、売上高、利益ともに増加。

株主の皆様への利益還元機会を充実させるため、当期の中間配当金は1株当たり5円といたします。

年間配当金 (平成28年3月期)

中間 5円	期末 5円 (予定)	合計 10円 (予定)
----------	---------------	----------------

連結財務ハイライト



酸化チタン関連事業

- 汎用途の酸化チタンは、建築塗料向けの需要低迷やアジア市況悪化等の影響を受けたものの、国内インキ向けが堅調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期並みを維持した。
- 機能性用途の微粒子酸化チタン、表面処理製品は、化粧品向けが好調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を上回る。



その他事業

- 界面活性剤は、洗剤等日用品向けが概ね順調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期並みを維持した。タイの連結子会社の販売は堅調に推移した。
- 無公害防錆顔料は、輸出が堅調に推移し、導電性高分子薬剤は、コンデンサ向けの需要が回復し、売上高は前年同期を上回る。
- エレクトロ・セラミックス製品は、顧客の在庫調整により、売上高は前年同期を下回る。



主要な事業内容	会社名
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、赤外線遮蔽酸化チタン、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 テイカ商事(株)

主要な事業内容	会社名
界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料、導電性高分子薬剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 テイカ倉庫(株) テイカ商事(株) ティーエフティー(株) テイカM&M(株) TAYCA (Thailand) Co.,Ltd. TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.

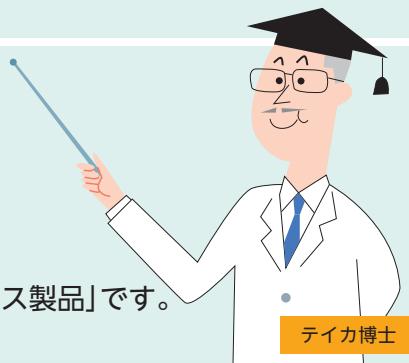


※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの「四半期(当期)純利益」についても科目名を統一しております。

特集 テイカのチカラ

Vol.4 製品力「界面活性剤」、「導電性高分子薬剤」、「エレクトロ・セラミックス製品」編

テイカの事業について、わかりやすくテイカ博士がご紹介します。
第4回は「界面活性剤」、「導電性高分子薬剤」、「エレクトロ・セラミックス製品」です。



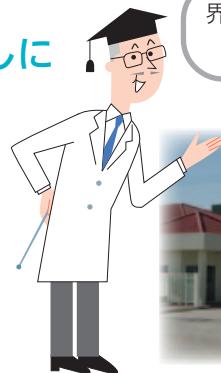
テイカ博士

界面活性剤

洗剤やシャンプーなど人々の暮らしに密着した製品で使われています。

心や身体をリフレッシュさせ、清潔で美しく、私たちの暮らしを支えてくれるビューティケア製品。これらの製品の材料として欠かすことのできないものが、界面活性剤です。

界面活性剤は洗浄、乳化、分散、可溶化、湿潤などの働きを利用し、洗剤(衣料用、台所用)、化粧品といった日用品や工業製品などに、幅広く使われています。



界面活性剤は、タイの連結子会社などの海外拠点でも製造・販売しています。



タイの連結子会社 TAYCA(Thailand)Co.,Ltd.

導電性高分子薬剤

コンデンサ、帯電防止など幅広い分野での活躍が見込まれます。

白川英樹博士のノーベル賞受賞により、広く一般に知られるようになった導電性高分子。この発明は、ドーピング(添加物を加えること)により、電気が流れない物質(プラスチックのような絶縁体)を電気が流れる物質(導電体)に変えるというものです。

当社はいち早くこの性質に着目し、当社固有技術であるスルホン化技術と融合させることにより、さまざまな要求特性に対応した導電性高分子薬剤を開発しています。

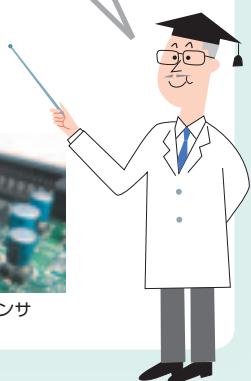
導電性高分子薬剤は、コンデンサ、帯電防止などの用途で大きな飛躍が期待されています。



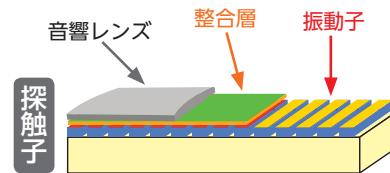
導電性高分子薬剤
コンデンサ用途を中心に、展開しています。



コンデンサ



エレクトロ・セラミックス製品



超音波を利用する製品を当社の圧電セラミックスが支えています。

エレクトロ・セラミックス製品として、圧電セラミックスを生産しています。圧電セラミックスは、電圧を加えることで物理的に伸縮を繰り返し振動する現象を利用し、超音波を発生させます。

用途

- エックス線を使わず体の中を調べることができる超音波エコー
- 低ダメージで、強力で洗浄できるシリコンウェハー装置

エコーでは世界を代表する医療機器メーカーにご利用いただいています。



今後の展開

TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.で製造、販売開始。

アジアでの需要増加に伴い、界面活性剤の製造・販売を目的として平成26年2月にベトナムに連結子会社TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.を設立し、来年春に本格稼働を開始します。

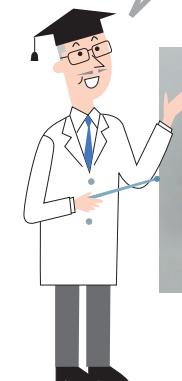
導電性高分子分散体を開発。

従来品よりも使用方法が簡単になり、コンデンサ等において製造工程の簡素化が期待される導電性高分子分散体を開発しました。

ヘルスケア分野以外の用途にも展開。

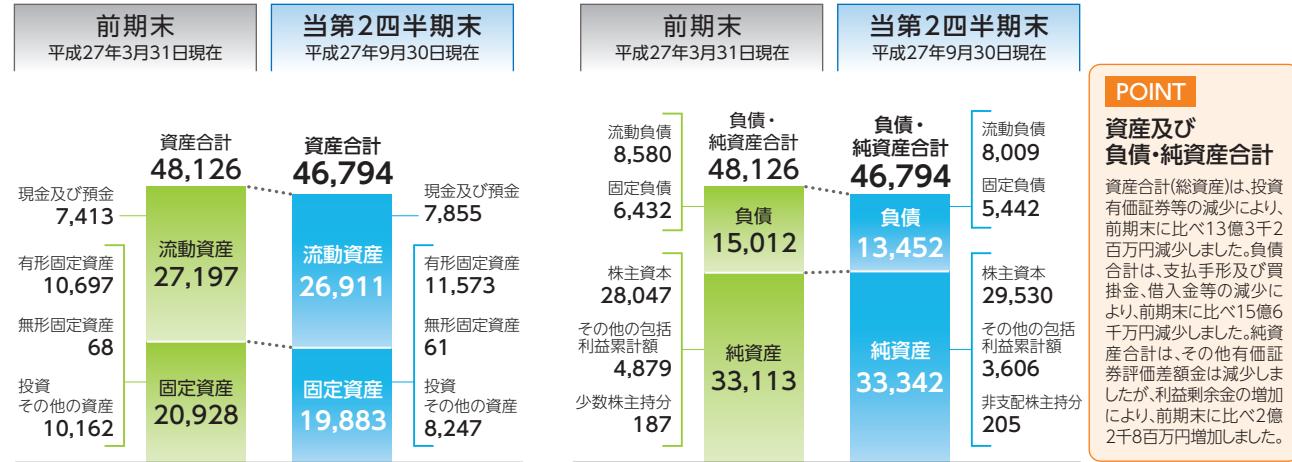
現在、エレクトロ・セラミックス製品は、ヘルスケア用途が中心ですが、これまでに培ったセラミック材料技術や加工技術を活用して非破壊検査装置や魚群探知機などへの用途展開・製品開発を行っています。

性能アップ・用途拡大を目指し、製品開発を行っています。

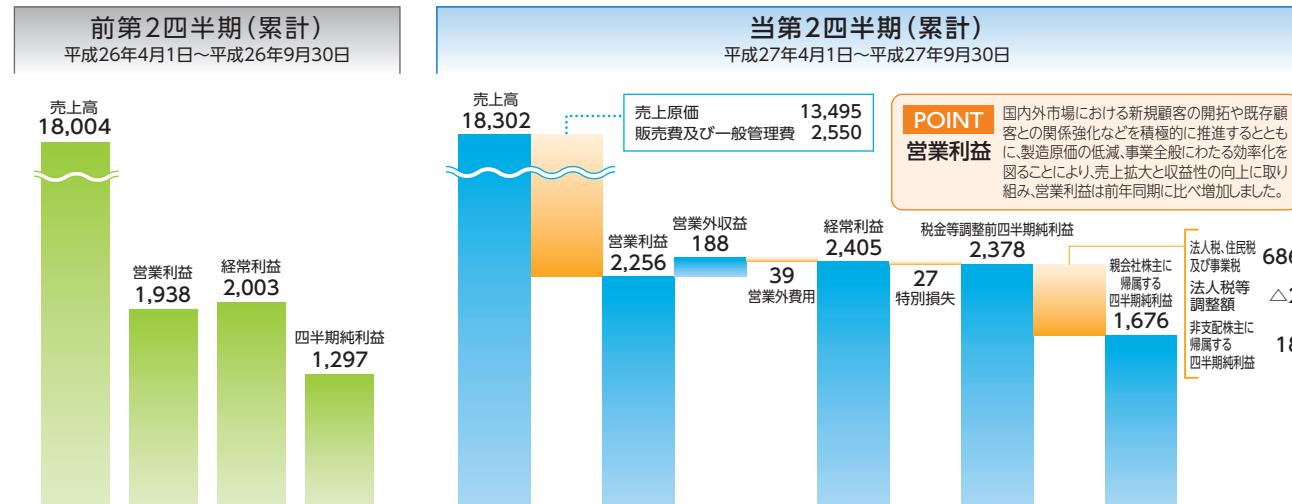


導電性高分子分散体

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主持分」を「非支配株主持分」に、「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 150,000,000株
発行済株式の総数 51,428,828株
株主数 4,032名
大株主

株主名	所有株式数(千株)
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
山田産業株式会社	2,940
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018
KBL EPB ORDINARY ACCOUNT 107501	1,998

(注) 当社は、自己株式3,823千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

会社概要 (平成27年9月30日現在)

設立 大正8年12月
資本金 9,855,953,999円
従業員 472名
事業内容 各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)

役員	代表取締役会長	清野	學
	代表取締役社長	名木田	正男
	常務取締役	山崎	博史
	常務取締役	辺見	武志
	取締役	池上	毅
	取締役	戸澤	正明
	取締役	西野	雅彦
	取締役	古城	康治
	取締役	田中	等
	常勤監査役	岡田	功勝
	常勤監査役	宮崎	晃
	監査役	山田	裕幸
	監査役	山本	浩二

(注) 取締役 田中等氏は、社外取締役であります。常勤監査役 岡田功勝ならびに監査役 山田裕幸、山本浩二の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所に対して田中等、山田裕幸、山本浩二の各氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 6月下旬
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公告方法 電子公告
公告掲載URL <http://www.tayca.co.jp/>
(ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

テイカ 100周年へ

あの日あの時 第5回

1961年6月、 界面活性剤の製造を開始

1958年(昭和33年)、大阪工場新研究室の円屋根の建屋が竣工。この建屋内に試験装置を設置・試作し、1961年(昭和36年)には有機合成設備を完成させ、界面活性剤の製造を開始しました。

一方、1965年(昭和40年)7月、農業の近代化と省力栽培方式への構造変化により化成肥料の需要は減退し、当社は過リン酸肥料の生産打ち切りを決定しました。



大阪工場新研究室の建屋完成
(1958年3月1日)



水没したモーターの取り外し応急修理作業
(1961年9月19日)

1961年9月、 第2室戸台風で大阪工場が被害

1961年(昭和36年)9月16日、第2室戸台風が近畿地方を襲い、大阪工場の製造設備等が大きな被害を受けました。

TAYCA
テイカ株式会社

<http://www.tayca.co.jp/>



UD
FONT

本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。